

## 第2学年 国語科学習指導略案

1組 計23人(男子13人, 女子10人)  
指導者 田代 祥太

1 単元 組み立てを考えて、はっぴょうしよう  
(教材「あったらいいな、こんなもの」光村2年下)

### 2 単元目標

相手に分かるように話す事柄の順序を考え、声の大きさや速さなどに気を付けて丁寧な言葉で話すことができる。

### 3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	A 話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
話したい、聞きたいという願いをもち、進んで話したり聞いたりしようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明する事柄を順序立て、発音・発声を意識しながら丁寧な言葉で話している。【(1)イ・ウ】</li> <li>・ 大事なことを聞き落とさないようにしながら友達の話聞き、感想を述べたり質問をしたりしている。【(1)エ】</li> </ul>	言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いて話したり聞いたりしている。【(1)イ(ア)】

### 4 単元の位置とねらい

これまでに子供たちは、第2学年「だいじなことをおとさずに、話したり聞いたりしよう」の学習において、人物の特徴などの必要な事柄を選び、大事なことが伝わるように話したり、大事なことを落とさずに聞きながらメモを取ったりする学習に取り組んできた。また、「つたえたいことをはっぴょうしよう」の学習において、お気に入りのものや大好きなことなどについて、伝えたいことの中心を考え、話す順序に気を付けながら発表する学習に取り組んできた。

そこで、本単元では、「A話すこと・聞くこと ア 自分の考えた事物の説明をしたり、説明を聞いて感想や質問を述べたりする言語活動」の「あったらいいな、こんなもの発表会」をする活動を位置付ける。「身の回りの人のために」という相手意識をもって考えた道具について、生活の中でどんな役割を果たすのか、そのためにどんな構造になっているかなど、説明する事柄を順序立てて話したり、相手の話を聞き落とさないように注意して聞いたりできるようにする。その際、これまで学習した、大事なことを落とさないようにメモを取ることや、はじめ・中・おわりで順序立てて話すことを生かすことができるようにする。

この学習は、グループで話題に沿って話し合い、互いの話を集中して聞き、考えを一つにまとめる教材『みんなできめよう』光村2年下の学習につながっていく。また、説明する事柄を順序立てて発表するという学習は、他教科の学習や実生活の様々な場面において適用することができる。

### 5 本時(6/13)

前時まで子供たちは、「身の回りの人のために、あったらいいな」と思うものを絵に表し、その道具を考えたわけや、その道具の見た目の特徴や働きなどについて考えてきた。そこで、本時では、道具についてより詳しく説明することができるようにしたり、よりよい話し方、聞き方について考えたりするために、以下の手立てを行うこととする。

#### (1) 目標

自分の考えた道具について説明したり、友達の考えた道具について質問・助言したりすることで道具についてより詳しく説明することができるようにしたり、よりよい話し方、聞き方について考えたりすることができる。

#### (2) 指導に当たって

ア 対話を重視した「学び合い」【研究内容1】

##### ① ペアでの「学び合い」

「考えたわけ」、「見た目の特徴」、「働き」などの視点に沿って質問・助言するために、ワークシートと付箋紙を使って分類・整理し、思考を可視化することで、道具についてより詳しく説明することができるようにする。

##### ② 全体での「学び合い」

「話し手」と「聞き手」の立場から、ペアでの「学び合い」での成果と課題を出し合うことで、どのようなことに気を付けながら話したり聞いたりすれば、互いの考えを広げたり深めたりできるのか考えることができるようにする。

イ 自己の学びを自覚するための評価活動【研究内容2】

「まとめる」過程で、まとめの中の空欄にキーワードを書き込み、全体で共有したまとめと比較することで自己の学びを自覚することができるようにする。さらに、「高める・味わう」過程で、自分の考えた道具が「学び合い」を通してどのように詳しく説明できるようになったかを振り返ることで、「学び合い」の成果を自覚し、次時につなげることができるようにする。

(3) 展開 □ 教師の言葉掛け □ 子供の反応 ◆ 重点評価項目 ☆ ICT 活用上の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教師の指導													
つかむ・見通す(5)	<p>1 これまでの学習を想起し、本時の学習内容について話し合う。</p> <p>今日はどんなことを学習しますか。</p> <p>自分の考えた道具を友達と説明し合います。</p> <p>質問や助言をもらい詳しく説明できるようにします。</p> <p>2 本時の学習課題を立てる。</p> <p>自分の考えた道具についてもっと詳しく説明するにはどうすればよいだろうか。</p> <p>3 解決の見通しを全体やペアで確認する。</p> <p>4 説明の仕方や質問・助言の仕方について振り返る。</p>	<p>○ 本時の課題解決に向け、どのように学習を進めるのか、ペアで確認し合うことで、子供一人一人が見通しをもって本時の学習に臨むことができるようにする。</p> <p>○ 「学び合い」における話し方・聞き方のポイントを振り返り、前時までの成果と課題を自覚することで、本時の学習への意欲を高めることができるようにする。</p> <p>☆ 電子黒板で、ペアでの「学び合い」の手順や方法を示すことで、見通しをもって「学び合い」に取り組むことができるようにする。</p>													
	<p>5 自分の考えた道具についてペアで話し合う。 【ペアでの「学び合い」】</p> <p>話し手・・・自分の考えた道具について説明し、聞き手からの質問・助言を基に説明を付箋紙に書き足す。 聞き手・・・友達の説明の分かりやすいところやもっと知りたいところはどこか考えながら聞き、質問・助言をする。</p> <table border="1" data-bbox="240 891 804 1167"> <thead> <tr> <th>話し手</th> <th>聞き手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わたしが考えた道具の名前は○○だよ。(名前の説明)</td> <td>どうしてその道具を考えたの。(わけを尋ねる)</td> </tr> <tr> <td>○○だからあったらいいなと考えたんだ。(わけの説明)</td> <td>どんなことができるの。(働きを尋ねる)</td> </tr> <tr> <td>○○ができるよ。(働きの説明)</td> <td>どんな(大きさ・色・形など)なの。(特徴を尋ねる)</td> </tr> <tr> <td>大きさは○○くらいだよ。色は○色だよ・・・(特徴の説明)</td> <td>○○のときはどうなるの。(質問する)</td> </tr> <tr> <td>それは考えていなかったな。</td> <td>○○してみたらどうか。(助言する)</td> </tr> <tr> <td>それはいい考えたね。(付箋紙に書き足す)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	話し手	聞き手	わたしが考えた道具の名前は○○だよ。(名前の説明)	どうしてその道具を考えたの。(わけを尋ねる)	○○だからあったらいいなと考えたんだ。(わけの説明)	どんなことができるの。(働きを尋ねる)	○○ができるよ。(働きの説明)	どんな(大きさ・色・形など)なの。(特徴を尋ねる)	大きさは○○くらいだよ。色は○色だよ・・・(特徴の説明)	○○のときはどうなるの。(質問する)	それは考えていなかったな。	○○してみたらどうか。(助言する)	それはいい考えたね。(付箋紙に書き足す)	
話し手	聞き手														
わたしが考えた道具の名前は○○だよ。(名前の説明)	どうしてその道具を考えたの。(わけを尋ねる)														
○○だからあったらいいなと考えたんだ。(わけの説明)	どんなことができるの。(働きを尋ねる)														
○○ができるよ。(働きの説明)	どんな(大きさ・色・形など)なの。(特徴を尋ねる)														
大きさは○○くらいだよ。色は○色だよ・・・(特徴の説明)	○○のときはどうなるの。(質問する)														
それは考えていなかったな。	○○してみたらどうか。(助言する)														
それはいい考えたね。(付箋紙に書き足す)															
調べる・深める(25)	<p>6 付箋紙に書き足した助言の中から、自分の考えた道具についてより詳しくできる助言を選ぶ。</p>	<p>○ 自分の考えた道具について、より詳しく説明するために本当に必要な助言はどれか吟味することで、自分の考えを深めることができるようにする。</p>													
	<p>7 ペアでの「学び合い」での成果と課題について全体で話し合う。【全体での「学び合い」】</p> <p>(聞き手の立場から)○○さんに質問したけど、答えられなくて悩んでいたの～と助言しました。</p> <p>(話し手の立場から)○○さんに～という助言をもらって、説明を付け加えた方がいいと考えて～としました。</p> <p>質問されたり、助言をもらったりすると、自分が気付かなかった考えに気付くことができました。</p>	<p>○ ペアでの「学び合い」における成果について価値付けを行ったり、課題を焦点化し全体で考えたりすることで、聞き手が知りたいことを詳しく説明しなければならないことに気付くことができるようにする。</p> <p>○ 友達の考えと、自分がペアでの「学び合い」で考えたことをつなぎながら発言することで、考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>													
まとめる・広げる(10)	<p>8 本時の学習について分かったことを自分の言葉でまとめることで自分の学びを自覚する。 【自己評価】</p> <p>聞き手からの(質問)や(助言)を基に、自分が考えた道具の(働き)や(特徴)を詳しくすればよい。</p>	<p>○ キーワードを考えながらまとめを書くことで、本時の学習内容を理解できたか自覚できるようにする。</p> <p>◆ 質問や助言を受けることで、道具の働きや特徴をより詳しく説明できることを理解している。【話す・聞く能力:ノート】</p>													
	<p>9 本時での「学び合い」を通して変わった考えを発表し合い、「学び合い」の成果について振り返る。 【自己評価】</p>	<p>○ 「学び合い」を通して、考えが変わったことや、なぜ考えが変わったのかについて振り返ることで、次時の学習につなげることができるようにする。</p>													
高める・味わう(5)															

## 「学び合い」想定シート

学習課題

自分の考えた道具についてもっと詳しく説明するにはどうすればよいだろうか。



友達の説明の分かりやすいところ、もっと詳しく知りたいところはどこか考えながら聞き、質問や助言をしましょう。

ぼくが考えた道具の名前は「びっくりレンジ」です。この道具は……。



とても便利な道具だね。普通のレンジとどんなところが違うの。



これはね、食材を入れるだけであっという間に料理が完成するんだよ。

そうなんだ、お母さんが助かるからいいね。どんな料理も作ることができるの。



そうだよ。すごいでしょ。

野菜を入れるときは、皮をむかなくてもいいの。



ううん、それは考えていなかったな。どうしようかな。

野菜の皮も自動でむいてくれることにしたらどうかな。



なるほど、それはいい考えだね。付け加えてみるよ。

質問や助言を基に、自分が考えた道具についての説明を付箋紙に書き足す。



「学び合い」で聞き手をしていたときに、こんな質問や助言をしたよ、と紹介してくれる人はいませんか。【友達の考えのよさに気付かせる言葉掛け】

わたしは、〇〇さんに「野菜の皮も自動でむいてくれることにしたらどうかな。」と助言しました。



〇〇さん、詳しく教えてください。

【関連する発言を求め、考えをつなげる言葉掛け】



ぼくの考えた「びっくりレンジ」はレンジの中に材料を入れれば料理ができる道具なのですが、野菜の皮をむいて入れるかどうかは考えていませんでした。△△さんの助言を聞いて、野菜の皮をむかなくてもいいということにしました。



質問や助言をもらったことで、自分が気付かなかった考えに気付くことができたのですね。【価値付け・称賛】



話し手、聞き手の中で、学び合いをしてみて難しいなと思ったことはありませんでしたか。【関連する発言を求め、考えをつなげる言葉掛け】



どんな質問をすればいいか、分かりませんでした。

どんな助言をすればいいか、分かりませんでした。



ぼくは□□さんに～という質問をしたよ。でも□□さんは答えられなくて困っていたから、「～してみたら。」と助言をしたんだ。

そうか。聞き手が質問して、話し手が答えられなくて困っているときに、一緒に考えてあげればいいんだ。それが助言になるんだね。



学習のまとめ

聞き手からの質問や助言を基に、自分が考えた道具の特徴や働きを詳しくすればよい。